

シルバーくだまつ

星のさと

NO. 53

平成26年6月20日

編集発行／公益社団法人下松市シルバー人材センター広報委員会 下松市潮音町二丁目16-8 TEL (0833) 44-2600



平成26年度定時総会

平成26年度 定時総会

平成26年度定時総会が5月30日(金) 10時から下松市勤労者総合福祉センターにおいて、下松市長ほか多数のご来賓をお迎えし、会員481人(含む委任状) 出席のもと盛大に開催されました。

宮川理事の総合司会により、土田理事の開会宣言・市民憲章唱和、官田理事長の挨拶に続き、下松市長、山口県周南県民局長、下松市議会議長(代理出席) からご祝辞をいただきました。

議長には、石田幸宣氏が選出され、原田事務局長が平成25年度事業報告、収支決算報告、さらに理事の改選、監事の改選についての4議案を提案し、原案どおり承認決議されました。

また、議事に先立ち理事長より、永年在籍会員46人(25年在籍3人、20年在籍3人、15年在籍11人、10年在籍29人)、に対して表彰状並びに記念品が授与されました。

本日、平成26年度下松市シルバー人材センターの定時総会に、会員の皆様には、多数ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

また、井川下松市長をはじめ、ご来賓の方々には、ご多忙の所ご臨席賜りまして、厚くお礼申し上げます。

さて、当センターの平成25年度の事業実績を、平成24年度と比較してみますと、会員数は24名減少致しましたが、一般労働者派遣事業を含めました受注件数は、51件増

ごあいさつ



理事長
官田 敏彦

加し、また、契約金額も927万円の増加となり、事業実績はようやく回復の兆しが見られるところであります。

これもひとえに、下松市をはじめ、関係機関・地元企業及び市民の皆様のご理解とご支援、さらには、会員の皆様の多大なご努力・ご協力によるものと深く感謝申し上げます。

また、昨年度、当センターは、長年にわたる安全就業への努力が評価され、全国シルバー人材センター事業協会から、安全就

業優良シルバー人材センター12団体の中の一団体として表彰されました。

重ねて深く感謝申し上げます。

こうした中で、お手元にお配りしておりますように、本年3月、当センターのこれまでの第一次中期基本計画5年間の実績を踏まえ、今後の目指すべき方向性と役割を見据えた第二次中期基本計画が策定されました。

今後、会員の皆様、役職員が一体となつて、本計画を計画的に実行し、引き続き効

率的なセンターの運営に努めますとともに、会員の確保、就業機会の拡大、安全・適正就業の推進に努め、当センターの地域社会への、更なる貢献を目指してまいります。今後とも一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員の皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げます、ご挨拶といたします。

平成25年度事業実績

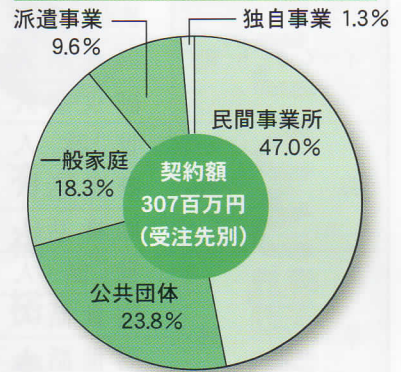
我が国の経済は、一部には景気回復の兆しが見られたものの、まだまだ安定的な景気回復に至っていないのが実情です。

こうした中、当センターの平成25年度の事業実績（一般労働者派遣事業も含む）は、昨年度に比べて受注件数が51件の増、受注契約金額が、約927万円の増となりました。

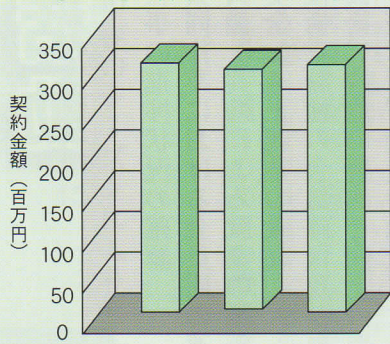
しかしながら、収支決算においては、公益法人認定法の収支相償の規定により、収益が費用を超えてはならないとされていることから、約108万円の減となり、いわゆる適正な予算を賄うことができました。

今後も、会員・役職員が一丸となって、公益社団法人としての一層の寄与と法令厳守に努め、活力と魅力あるセンターの構築に邁進したいと思います。

受注先別契約金額の割合



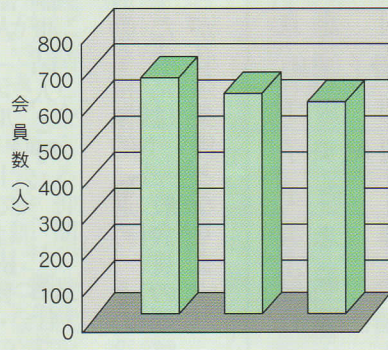
受注契約金額の推移 (一般労働者派遣事業も含む)



	平成23年度	平成24年度	平成25年度
契約金額	312	298	307

(単位：百万円)

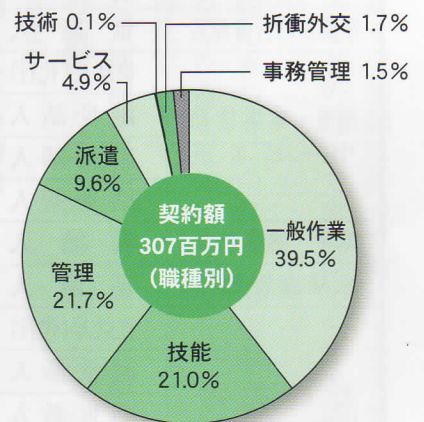
年度末会員数の推移



	平成23年度	平成24年度	平成25年度
会員数	666	622	598

(単位：人)

職種別契約金額の割合



受賞者名簿 (敬称略)

【25年在籍会員 (3人)】

佐伯 寅秋 竹本 貞子 瀬来 裕士

【20年在籍会員 (3人)】

深町 和彦 明尾 義彦 恒吉 友子

【15年在籍会員 (11人)】

若林 茂夫 田口 政則 佐々部省三 小林美樹子 大木 末子 中野 貞人
伊藤 重昭 伊藤 公子 藤原 武人 前田 啓子 河村 光雄

【10年在籍会員 (29人)】

末永 信子 久野 克子 陶山 寿生 内富 清文 武居 春子 藤岡 孝子
藤井 貞彦 原田 俊子 長家 重代 内山 正勝 福永 和江 多田 靖範
橋本 英雄 河野 致義 青木 達郎 西村 行史 相本 清子 林 博重
高橋 勇 中村 芳美 三輪 祥二 内富 秀雄 西村 年夫 角井 武彦
吉國百合子 中村 良子 中村 奉文 武居 勝範 田中 優

職群班の役割と活動

会員の就業は、共に助け合いながら共に働く、グループ就業が基本です。職群班を結成する第一の目的はここにありま

す。職群班では、会員間の調整や仕事の進行を確認し、共働・共助の心を培うと同時に、会員の技術・技能の習熟程度を見極め、効率良く、また安全に仕事を進め、仕事の段取り等を調整します。

職群班の主な役割と具体的な活動としては、一般的には次のようなことが挙げられます。

- ① グループ内での仕事の配分の調整
- ② 仕事の手順、方針の徹底

班活動を積極的に進め、その役割を十分に果たすためには、一般会員の理解と協力を得ることが必須条件となります。

副世話人（シルバーでは班長・副班長を世話人・副世話人と呼ぶ。）が選任されております。

- ③ 仕事の進捗状況の確認
- ④ 共同作業における会員間の連携
- ⑤ 共働・共助による就業の徹底
- ⑥ 安全・適正就業の徹底
- ⑦ 技術系職種の会員確保及び後継者の育成
- ⑧ 技術・技能の習熟と向上のための訓練

職群班には、会員の総意により世話人及び副世話人（シルバーでは班長・副班長を世話人・副世話人と呼ぶ。）が選任されております。

職群班別世話人・副世話人名簿

H26・6・1現在（敬称略）

班名	世話人・副世話人名
筆耕班	世話人 手嶋 基洋 副世話人 白木伸幸（職員）
イベント班	副世話人 栗岡 宗弘
	副世話人 波多野 智
剪定班	世話人 横田 進
	副世話人 林 利治
草刈班	副世話人 兼田 亨
	世話人 岡田 米蔵
除草班	副世話人 長瀬 秀生
	副世話人 古川 勇二
	副世話人 瀧田 陽一
	世話人 田窪 俊江
家族旅行村管理班	副世話人 橋本 恵子
	副世話人 田中 さちこ
福祉・家事援助サービス班	世話人 小川 忠良
	世話人（代行） 松永静子（職員）
	副世話人 中山 康子
	副世話人 渡辺 紀美子
障子・襖張替班	副世話人 原 尚子
	世話人 伊藤 忠夫
米泉湖管理班	世話人 岡本 誠治
	世話人（代行） 玉井勝己（職員）
大工・左官・塗装・便利屋班	副世話人 高松 武義
	副世話人 尾高 浩己
	副世話人 財間 重信
	副世話人 森本 寿美生
	副世話人 高松 武義

新旧役員紹介

5月30日に開催された定時総会において、次の方が役員に就任いたしました。どうぞよろしくお願いたします。

役職名	氏名	分担業務等
理事	官田 敏彦	理事長（安全委員長）
理事	原田 孝久	常務理事
理事	清水 信男	事務局長
理事	土田 芳大	市経済部長
理事	宮川 照之	（総務・安全）
理事	栗岡 宗弘	（総務委員長・広報）
理事	松永 静子	（総務・広報）
理事	岡田 米蔵	（広報・就業）
理事	沖田 誠	（広報委員長・安全）
理事	玉木 章嘉	（就業開拓委員長・総務）
理事	波多野 悦子	（就業・安全）
理事	吉山 俊則	（広報・就業）
理事	岡本 誠治	（広報・就業）
理事	神田 佳郎	（市総務部長）
理事	藤本 泰延	（市総務部長）

今回、次の三名の方が退任いたしました。長い間大変お疲れさまでした。

前理事	松原 隆士	前市経済部長
前理事	安田 務	前就業開拓委員長
前理事	原田 雄次	前市総務部長

働くことと健康



下松市保健センター
保健師

有 福 裕 美

東京都中央区にある聖路加国際病院の理事
長、日野原重明（ひのはらしげあき）先生
は、明治44年生まれで102歳を超えた今も5年
後、10年後の仕事の予定を手帳に書き込まれ
るそうです。理事長の
仕事の傍ら、一時間半
の立ったままでの大講
堂での講演を日本だけ
でなく、海外でも年に
数十回行なわれていま
す。

健康百話



先生は、『齢（よわい）
に負けず、内なる精神を發揮して生き甲斐を
持って働くこと』と年齢を重ねても積極的に
働くことを推奨されています。

厚生労働省の「高齢者就業実態調査」
（2004年）によると、高齢者が就業してい
る理由は、経済的な理由からの就業希望だけ

ではなく、加齢に伴って健康や生き甲斐、社
会参加などの理由で就業を希望する方も多い
ようです。

年齢を重ねるにつれて仕事などの社会的役
割がなくなると、知的な探究心が衰え始める
と言われています。

また、洗濯や掃除、買い物などの日常生活
動作の活動能力は、高齢になるとともに衰え
ていきます。

■働くことの効用

- ①リズムのある生活を送ることにつながりま
す。
- ②世の中の動きやニュースに関心が高まり、
認知症の予防にもつながります。
- ③何にでも積極的に取り組みたいと意欲が
高まり、生き甲斐を感じます。
- ④適度に体を動かし、体力の維持につながり
ます。
- ⑤気軽に話し合える仲間、世代を超えたつな
がりができ、社会参加につながります。
年齢を重ねて働くことは「いつまで仕事
を続けられるか」という不安もありますが、
外出の習慣を持ち、閉じこもりを予防するこ
とにつながります。旅行や食事など、仕事以
外でも仕事仲間との交流の機会を持つのも良
いですね。

「熱中症のシーズンに入りました。こまめ
な水分補給を忘れずに！」

「平成26年度安全・適正 就業推進大会」を開催

安全及び適正就業の徹底と意識の
高揚を図るため、本年度も次のお
り開催します。

万障繰り合わせてご参加ください。

▼日時 平成26年7月12日（土）

10時～12時

▼場所 スターピアくだまつ

展示ホール

▼内容

○講演 「最近の交通情勢について」
講師 下松警察署 交通課

○表彰 「安全就業改善提案」
最優秀賞・優秀賞

○発表
・最優秀作品紹介
「安全就業改善提案」

・体験発表 「家事援助班について」

・事例発表 「イベント班の業務と
安全就業の取り組み」

○安全宣言 大工・左官・塗装・
便利屋班会員

会員のひろば

(敬称略)



下松3班
竹本貞子
(布俱樂部)

平成元年、誕生間もない下松市シルバー人材センターに入会、会員250人ほど、私の仕事は週一回の集金業務でした。

その後の高齢者福祉に呼応した家事援助班の立ち上げにはコーディネーターとして参加しました。

会員在籍25年の間には悲喜こもごものたくさんの思い出があります。

県シ連主催の会員交流大会に、当センターからは「布俱樂部」の作品発表をかねたファッションショーで参加し、私は司会をつとめさせていただきました。

野木前理事長以下25人のモデルがステージを埋め圧巻、大好評を博したことが忘れられない一番の思い出です。

今は「布俱樂部」のお手伝いで生きがいを実感しながら、日々を過ごしています。

シルバーでの活動を通じて、多くの方々や仕事と出会うことができて、良い人生勉強になりました。



久保3班
田中雅信
(障子・襖張替班)

障子・襖張替班の仕事に就いて4年が過ぎました。

この班に入った動機は障子・襖が和紙で出来ていることです。私の趣味のひとつが和紙で拓本を採ること、ともに和紙が醸し出す美しさに惹かれるからです。

拓本とは？ 文学碑・記念碑・石造の歴史資料などの文字を紙に写しとり記録する技法ですが、同時に拓本を鑑賞し愛でる楽しみでもあります。

石碑などに画仙紙をあて、濡れタオルで石と紙を密着させます。紙が半乾きになったらその上か

ら、墨汁を含ませた「たんぼ」で墨を打ちます。

すると文字などが、和紙の上に墨痕鮮やかに写しだされ、白い和紙と黒い墨のコントラストが、えも言われぬ美しさで私の心を魅了します。

今までに採集したものは、北は宮城県、南は鹿児島市の西郷隆盛墓碑まで、句碑・万葉歌碑などさまざまです。

和紙の中の白と黒が見せる拓本の美しさ、50年以上愛でていきます。



久保4班
金丸武夫
(剪定班)

入会して剪定班に所属し、一年半になります。

先輩諸氏の鮮やかな手腕には感動の毎日です。

庭に植木のある風景は心を安らげてくれますが、これも放っておくと、美しい庭もやがて林となり、森となります。

こんな庭も剪定作業によって見事によみがえります。そんなやりがいのある仕事に魅せられていました。



末武5班
村光子
(除草班)

除草班に入会して、あつという間に3か月が過ぎました。

作業を通じていろいろな人と出会うことも楽しみの一つです。

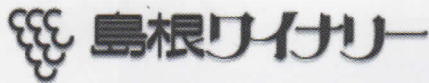
驚くのは、還暦を過ぎて何年もどこから湧いてくるのだろうか、いつも感心させられます。どんなに疲れていてもバリバリと作業をこなし、見る見るうちに除草がはかどっていきます。

先輩からの「何事も根性だね」心にしみたこの言葉を胸に仕事を続けて、みんなの笑顔に出会いたいと思っています。

会員親睦 日帰りバス旅行 山陰の旅

島根ワイナリー 出雲大社 かにかに家

3月15日、58人の参加のもと大型バスとマイクロバスに分乗し、高速道路の一部に残雪の景色を見ながら山陰・島根を巡る日帰りバス旅行を楽しみました。



自社の広大な「ぶどう畑」で栽培された「ぶどう」でワインを作る島根ワイナリーを訪問しました。

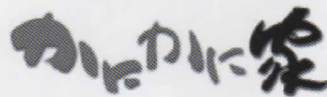
ここでは、昼食に食前酒のワインと島根和牛の焼肉を楽しんだ後、同一敷地内にあるワイン試飲コーナーで様々な種類のワインを飲み比べて回りました。皆さん、同じワインといえどもこんなに味が違うものだと感心していました。



出雲大社

昨年来、伊勢神宮の式年遷宮と、ここ出雲大社の60年に一度の大遷宮が話題になりましたが、お化粧直しされた神々しいばかりのお社に、参加者全員で参拝できたことを幸せに感じました。

ちなみに、伊勢神宮の遷宮は、お社を新しく建て替えるものに対し、ここ出雲大社は大規模な修理のための遷宮だと聞き、また一つ、新しい知識を得ました。



日本海名産の「松葉ガニ」と海産の乾物を売る店で、大量に並んだ商品は、どれも新鮮なものばかりで、訪れた会員の皆さんは、お店で提供される「保冷ケース」一杯にお土産を買われていました。

3月2日(日)

犬城研修会及び親睦会

今年の研修会及び親睦会は、81人の参加のもと犬城を会場に実施されました。

研修は、ビデオ「安全就業について」を見た後、栗岡理事（安全対策推進委員会委員長）が当シルバーの現状報告を行い、安全就業の大切さを再確認しました。

親睦会では、日本コロムビア所属「前川光珠」歌謡ショーやカラオケ演芸大会が賑やかに繰り広げられました。

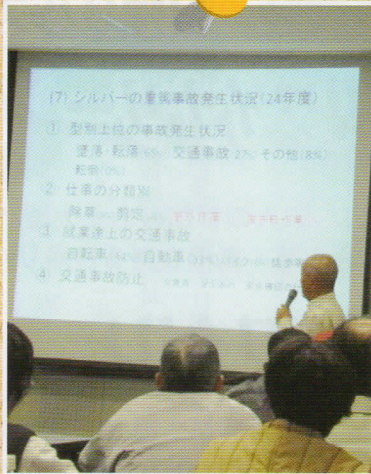
恒例のお楽しみ抽選会は、市長、光珠さん、理事長の3人が抽選に立ち会い、大いに盛り上がりしました。





カメラルポ

26.3.15 会員親睦旅行
出雲方面への日帰り親睦旅行が、会員独自により実施されました。



26.4.11 安全研修会
安全委員会の主催で草刈り・除草班の方を対象に開催いたしました。



26.1.31 地区懇談会(末武公民館)
地域班の活性化を目的に、地域班別に、年6回、全会員を対象に開催いたしました。



26.3.2 会員研修会と親睦会
会員相互の親睦を図るため、研修会・親睦会を行いました。



26.4.23 明るく楽しく元気に交流会
憩い、語らうことにより生きがいづくりを支援する交流会。年4回開催しています。

表紙によせて

平成26年度定時総会の風景を
組写真にしました。
久しぶりに会う顔と顔、総会
前の会場は、あちらこちらに談
笑の輪ができ、交流の場となっ
ていました。

編集後記

会員の皆様のご協力により、定時総会が盛会のうち
に終了し、新年度より5カ
年にわたる第二次中期基本
計画がスタートしました。
計画の推進に向けて、ご
協力の程よろしくお願いい
たします。

広報委員会は、「星のさ
と」が、親しみやすく分か
りやすい情報を提供する広
報誌となるよう取り組みま
す。皆様からのきたんのな
いご意見をお待ちしていま
す。

広報委員一同